

# ishiankai [シンカ]

人と人、医師と医師会をつなげ、これからも**進化**し続ける

2024  
新創刊



ご挨拶

「新創刊にあたって」

大迫 政彦院長

医師着任のお知らせ

乳腺・甲状腺外科／緩和ケア

高濱 哲也先生



病院長

# 大迫 政彦

おおさこ  
まさひこ



## 新創刊にあたって

鹿

児島市医師会病院は、鹿児島市医師会の共同利用施設の一

つとして昭和59年に開院し、令和6年に40周年を迎えます。

40年の歴史の中で、鹿児島医療圏では高度急性期病院、救急病院の整備が進み、当院を取り巻く医療情勢は様変わりしています。そこで当院も、医師会員の皆さまのニーズの変化に合わせて、急性期医療に軸足を置きながらも地域包括ケア、緩和ケア、在宅療養後方支援へと役割を広げ、近年において、診療時間の延長や婦人科の人員増強、緩和ケアのさらなる体制強化など

について、皆さまのご要望を反映する形で実現しております。

昨年末には、3年ぶりに医療連携の会を開催することができ、顔の見える医療連携の再開がかないました。

またこの度、長年発行してまいりました「医療連携だより」を装い新たに大幅リニューアルし、より有益な情報発信の強化を進めてまいりたいと思います。医療圏の再構築が進む中でも変わらず多くの患者さまをご紹介いただいていることに心から感謝申し上げますとともに、今後も必要なニーズに応える努力と工夫を重ねてまいります。

## 医師着任のお知らせ

### 乳腺・甲状腺外科の新設に向け 高濱哲也医師が着任します

当院ではこの度、外科から乳腺、および甲状腺領域を独立させ、内分泌外科領域の評価に必要な検査、治療、および乳がん、甲状腺がんなどの共同手術については「乳腺・甲状腺外科」として行っていくこととなりました。

また、新たな診療科の開設に伴い、県内の乳腺・甲状腺疾患の大半が集まる「社会医療法人博愛会 相良病院」と「かねこクリニック」で治療に携わってきた高濱哲也先生の着任が決まりました。高濱先生は、乳腺・甲状腺のそれぞれにおいて、1000件をゆうに超える手術経験をお持ちです。より安全性の高い手術を行うため、神経の損傷を防いで安全に手術ができる神経刺激装置も導入しました。人員と機器の充実で、より確実性の高い手術ができる体制が整いましたので、会員の皆さまには安心して患者さまをご紹介いただければと思います。



## 乳腺・甲状腺外科 高濱 哲也先生

### たかはま・てつや

1990年九州大学医学部卒業。同年、九州大学医学部附属病院第一外科(現・臨床・腫瘍外科)入職。社会医療法人博愛会相良病院で乳腺外科・甲状腺の治療に従事。緩和ケアにも従事した。2007年より社会医療法人天陽会中央病院に着任、乳腺外科を診る傍ら緩和ケア科を立ち上げる。2021年、鹿児島市医師会病院緩和ケア科の立ち上げに参画した後、かねこクリニック勤務。2024年、鹿児島市医師会病院乳腺・甲状腺外科着任。

### 緩和ケアとの連携で 一人ひとりに最善の治療を

高濱先生は、相良病院の乳腺外科・甲状腺科の部長として乳がんの治療にあたる中で必要性を感じ、緩和ケアにも早期から取り組んでこられました。中央病院では緩和ケア科の立ち上げを担い、当院の緩和ケア科の立ち上げにも参画されています。着任後は緩和ケア科とも連携し、非がん疾患を含めた痛みの緩和にも注力していくとのことでした。併せて、「医学的に正しい判断」に固執せず、患者さまとご家族の気持ちを丁寧に取り扱って、「その人にとって正しい判断」を一緒に模索していきたいと力強く抱負を語ってくださいました。

乳腺・甲状腺外科の始動後は、ご紹介いただく患者さまの不安を助長しないこと、および会員の先生方の負担を軽減することを第一に考え、電話でご相談を受けて面談をし、後で紹介状や同意書を頂くといった柔軟な仕組みの導入も検討しています。当院へ転院するまでの患者さまへのサポートにも、ご要望があれば対応していく予定です。ぜひ、気軽に相談ください。

## 緩和ケアの取り組み

### 医師、認定看護師、心理士などのチーム医療で、「その人らしい人生」を支援

緩和ケア病棟では、患者さまが心身の安らぎを得てこれからの生き方について考えられるよう、痛みや倦怠感、きつさを和らげるお手伝いをしています。認定看護師をはじめとした緩和ケアチームがお話を伺い、希望に沿ったサポートをしていきますが、患者さまの中には自分のことを話すのが苦手な方、話したくないという方も少なくありません。私たちが考える正解を押しつけるのではなく、患者さまごとの正

解を探りながら、個別の価値観に寄り添ったケアを心がけています。緩和ケアは終末期ケアではなく、がんの告知から必要に応じて継続的に行われるものです。患者さまとご家族の心身の痛みを取り除き、生活の質を高めながら治療を続けていくために、気兼ねなく相談できる窓口としてご紹介ください。在宅で療養している方の症状が強くなったときなどには、24時間365日受け入れに対応しています。



緩和ケア認定看護師 辻田 智美

## 2023年11月 連携の会ご報告

### 「鹿児島市医師会病院 地域連携施設連絡会」コロナ禍を経て4年ぶりの開催

2023年11月27日、連携施設連絡会を開催しました。令和元年以降、コロナ禍を経て実に4年ぶりの開催でしたが、多くの会員の先生方にご出席いただき、顔の見える関係づくりを再開できましたことにまずは御礼申し上げます。当日は、当院病院長・大迫政彦のあいさつに続き、当院の取り組みを3つ紹介しました。一つは職員の介護離職防止に向けた活動、もう一つは漢方治療を中心に西洋医学、神経ブ

ロック治療を組み合わせるペインクリニックの診療、最後に外科の症例紹介（卵巣腫瘍との鑑別が困難だった消化管間質腫瘍の切除例）です。講演後にご参加いただいた皆さまとの懇談会が行われ、講演についてのご感想や、日頃の連携についてのご意見を頂くことができました。今後も、連絡会などを通じた意見交換を実施し、より良い連携に向けて努力してまいりたいと思います。

